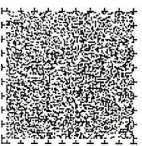


せるび

F U K U O K A

No. **19**
2018.9.1 発行



19号 CONTENTS

セルフセンター福岡 理事長挨拶	2	セルフバザール	3	アンケート結果	3	光ってるボクラの仲間	6
New Face	8	コラボ商品開発	11	各施設の祭り紹介	12	セルフトピックス	14
平成29年度事業報告	16	平成29年度収支決算書	19	平成30年度事業計画	20	情報ボックス	20
共同受注窓口	21	委員会だより	22	役員・委員会名簿	22	各地域拠点施設	23
						編集後記	24

Pick up
社会福祉法人 上横山福祉会

〒834-0023 福岡県八女市馬場6番地1 TEL 0943-30-3001 FAX 0943-30-3003

蓮の実団地インタビュー

今回は八女市の今年移転された社会福祉法人上横山福祉会の「障害者支援施設 蓮の実園」「障害者支援施設 蓮の実団地」、そして新設された「多機能型事業所 ワークスペース蓮」にお伺いし、蓮の実団地の田川施設長とワークスペース蓮の管理者の酒村さんにお話を聞いてきました。

一移転新設おめでとうございます。とても綺麗な施設ですね。ありがとうございます。移転の前後は慌ただしかったですよ、だいぶ落ち着いてきましたよ。

一上横山福祉会(上横山保育会改め)は、昭和40年に設立されたということで長い歴史のある法人だと思いますが、こういった理念でこれまでの歩みをすすめていかれたのでしょうか。

「蓮の実園」「蓮の実団地」を開設した当初は一般社会で生活することが困難な利用者が施設内で仕事と生活が完結するような流れを社会復帰の形として運営していました。しかし、利用者の「もっと社会に出たい」という声に応えるのが使命であると考え、囲い込みではなく、社会参加に向けて支援していくようになりました。時代の流れと共に形は変わりましたが、「社会に触れる」ということは基本としてありました。

一移転に至るにはどのような経緯があったのでしょうか。

移転前の施設は山の上の方にあったのですが、建物の老朽化もあり建て替えを検討していたところ、「同じ場所で建て替えをして利用者がその間住む場所は確保できるのですか?これを機に八女市内の平地に移転してはどうですか?」との声を受け、土地探しを始めました。試行錯誤を重ね現在の土地に決まるまで約6年かかり、設計にも様々な苦心がありましたが、理事長をはじめとした実現への尽力と皆様のご協力もあり移転することができました。

一利用者の方に何か変化はありましたか。

利用者の満足度は高まったと思います。新しい設備環境で生活がしやすくなったこともありますし、より身近に社会と関われるようになり自由度・利便性は上がりました。

一利用者はどのような生産活動を行っていますか。

「蓮の実団地」では契約している農園から運んできたネギを揃える作業やラーメン屋さんで使われるニンニクの皮をむいて割る作業などを行っています。より就労に重点を置いた事業所として新設した「ワークスペース蓮」では上横山福祉会の昔からの伝統でもある八女茶の栽培・加工・販売を行っています。地元茶畑を持っており、お茶摘み・刈り落とし・剪定などの工程を利用者と一緒に行っています。今年からは紅茶も手掛けており、販売会にも出品していきたいと考えております。また、お茶の新商品を研究開発しておりますのでそちらもお楽しみにしていただきたいです。作業としてはその他に地域の企業から

の下請も行っており、作業の精度が高いと評価を得て良い関係が築けていると思います。また福祉の事業所として作業一辺倒になるのではなく、職業指導員以外に生活支援員も配置されていることを踏まえ、生活

面の充実にも力を入れています。これからは「ここで働いてみたい」と思われるような魅力づくりを追及していきたいと考えています。

一これからどんな未来を描いていきたいですか。

新しい施設ができてひとまずホッとしたところですが、ここからがスタートラインだと思っています。地域が施設かではなく、地域の中に施設があり、そこに垣根が無い関係性を目指していきます。また地域に溶け込みながら施設としても利用者一人ひとりとしても、社会の役に立っていることを実感できるようになっていきたいと思います。また作業をもっと活性化させることにより、働くことによって得られる喜びを利用者の皆さんに一層感じてもらえるようにしたいと考えております。

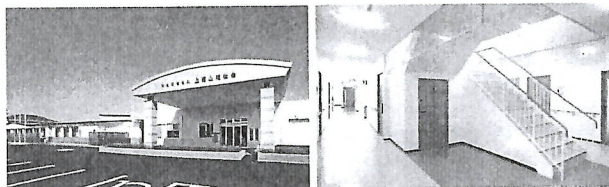
一これからの時代に社会福祉法人にはどんなことが求められていくと思いますか。

地域に貢献できるような活動をしていくことが必要です。当法人としても「ふくおかライフレスキュー事業」に加わっており、福岡県や八女市等と話し合いをして4月からは障がい者の地域生活支援拠点事業を始め、既に緊急宿泊の実績も数件上げております。八女市・広川町・筑後市といった広域の拠点として相談支援センターなどと連携を取りながら活動しています。障がい者の施設であっても専門分野だけにとどまらず、地域福祉のため広く機能を開放していくことが大切だと思えます。

インタビューは以上です。美味しいお茶をいただきました。ありがとうございました。

障害者支援施設 蓮の実園
障害者支援施設 蓮の実団地
福岡県八女市馬場6-1

ワークスペース蓮
福岡県八女市馬場3-1



落成式で挨拶をされる
國芳理事長

